

ご案内

第9回ファイアサイドディスカッション

「総合的に患者を診る-かかりつけ医の一つの形?-」

日時 7月30日(土) 午後3時~5時
 会場 兵庫県保険医協会 5階会議室
 講師 関西医科大学総合診療医学講座 石丸 裕康 先生
 その他、パネリスト4名
 司会 西宮市 伊賀内科・循環器科 伊賀 幹二 先生

「かかりつけ医」という言葉には、患者を臓器ではなく一人の人間としてみるというイメージが含まれています。国はこの心地よい言葉を使用することで、一人の医師が高血圧などの複数の生活習慣病などを管理し、高齢者の医療費を下げることを目標としているように思えます。一方、医師は患者を総合的に診ることによる良質な医療提供が目的であり、両者の最終目標が異なっている現状では議論はかみ合いません。

「かかりつけ医」を議論するには、登録制である医療体制が前提です。しかし、自由に受診できる日本では「かかりつけ医」の定義自体が不明確であるので、今回は、具体的に「総合的に患者さんを診療する」という言葉に置き換えて議論したいと考えています。

最初に、司会の私がこのタイトルを議論したかった背景をお話します。次に総合的に患者の全体をみることを是と考えている学生さん(熊本大学医学部5年生 伊東さん)、大病院の感染症科所属ではあるが患者の全体像をみる必要性を考えている卒後7年目の医師(京都市立病院 青木Dr)、家庭医療の研修プログラムを遂行中の卒後3年目の医師(堺市立総合医療センター 横川Dr)に、それぞれの立場で自分が考えている「総合的に診療する」ことを短くまとめてもらいたいと思います。メインのスピーカーとして関西医大総合診療医学講座の石丸教授に、卒業以来総合診療を歩まれた経験から、

multimorbidityの話を含めた、その歴史や学生教育、生涯教育について講演をお願いしています。

最後に開業医の実際として半田先生の自院での診療状況を報告していただき、その後、聴衆の方も参加し議論するという形をとりたいと考えています。Zoom併用なので遠方の先生方も大歓迎です。

(西宮市 伊賀内科・循環器科 伊賀幹二)

お問い合わせ、参加申し込みは事務局
 (☎078-393-1807) 伊地知・山田まで



Zoomでのオンライン参加
 申込は上記QRコードから。



熱心にメモを取りながら聞き入る参加者



世話人の先生3人が講師を務めた

研究会では、2022年診療報酬改定で新たに導入されたリフィル処方箋の解説のほか、情報通信機器を用いた点数(オンライン診療料)、新興感染症に対応する新たな加算(外来感染対策向上加算)や、マイナンバーカードの普及を目的とした電子的保健医療情報活用加算などの新設点数について説明するとともに、機能強化加算などの施設基準の変更についても分かりやすく解説した。

参加者からは「新点数についてわかりやすく解説いただいていた疑問点が解消された」「リフィル処方箋について、医療機関には特に利点がないことがわかった」「外来感染対策向上加算の届出を考えていたので、ためになった」などの声が寄せられた。

協会は、3月21日から県下各地で、診療報酬改定研究会(医科)を開催。西宮では、3月24日(木)に西宮市民会館で開催し、医師・メデイカルスタッフら117人が参加した。4年ぶりの会場開催となったが、今

回も、岩下内科クリニックの岩下敬正先生、川崎医院の川崎史寛先生、中島クリニックの中島敏雄先生の3人が講師を務めた。

研究会の冒頭では岩下先生から診療報酬をめぐる情勢について報告。コロナ禍

新点数をわかりやすく解説

診療報酬改定研究会(医科)

兵庫県
 保険医協会

西宮
 芦屋
 支部
 ニュース

No. 363
 2022・5・25

発行
 連絡先
 〒662-0832

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部
 兵庫県西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内
 兵庫県保険医協会 電話〇七八(三九三)一八〇一

ご案内

英語で診療 Medical English #56 Role Playingシリーズ②

Upper respiratory disease / COVID-19 = 上気道炎 / COVID-19 =

日時 6月17日(金) 午後2時~3時30分 参加費無料

会場 西宮医療会館1階会議室 (JR西宮駅より東へ徒歩約3分、西宮市応急診療所の東隣)

講師 Mr. Robert Conroy

司会 西宮市・半田医院 半田 伸夫 先生



毎回講師を務めているConroy先生

西宮・芦屋支部でMedical Englishセミナー#56を開催します。

おなじみ英国出身Conroy先生のわかりやすい英語のセミナーです。

role playing(ロールプレイ)を中心とした『話せる英語で診療』で実践力をつける英会話教室です。初めての方もご参加いただけます。

今回のテーマは上気道炎/COVID-19です。role playingしながら英語診療を勉強しましょう。参加者には予習ができる資料を事務局からFAX又はメールでお送りします。参加ご希望の方は事務局までFAX又はメールでお申込みください。

少し内容は異なりますが、金芳堂から出版されている『英語で診療』(P64~73)、『英語で診療・内科系』(P34~39)も参考にしてください。(※)

日頃疑問に思っている質問も聞ける良い機会です。医師・歯科医師のみならずメディカルスタッフの方々のご参加もお待ち申し上げます。参加費は無料です。

(西宮市 半田医院 半田伸夫)

※金芳堂より『続・英語で診療』、『続々・英語で診療』、『英語で診療・内科系』、『英語で診療・外科系』が出版されています。今後のMedical Englishセミナーでテキストとして使用しますので、活用していただくと予習・復習を楽しめます。大型書店又はインターネット等でお求めください(各CD付)。

お問い合わせは協会事務局 (☎078-393-1807) 伊地知・山田まで



右から、法貴支部長、林田副支部長、広川副支部長と司会を務めた半田副支部長

西宮・芦屋支部は昨年支部設立40周年を迎え、40年を振り返る記念冊子の作成を進めている。その一環として、4月9日に支部のベテランの世話人が集まり、西宮市・木曾路西宮店にて座談会を開催した。司会を西宮市・半田医院の半田伸夫副支部長が務め、西宮市・法貴皮膚科の法貴憲支部長、広川内科クリニックの広川恵一副支部長、西宮市・林田クリニックの林田英隆副支部長が参加した。座談会ではそれぞれの入会当初の思い出も語りながら、阪神・淡路大震災当時の取り組みなど、この40年の支部の取り組みを振り返った。また、3月に開催された診療報酬改定研究会(1面)についても、「説明会ではなく、問題点も含めて明らかにする研究会と位置づけてきた」と、担当されていた当時の思い出などをエピソードも含めて振り返った。座談会の模様は今年中に発行予定の支部設立40周年記念冊子に掲載予定で、ぜひご覧いただきたい。

支部設立40周年記念冊子作成へ
ベテランの先生で座談会を開催

世話人会だより

西宮・芦屋支部は4月22日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。4人が参加した。

【I. 最近の診療経験の交流】
・COVID-19診療・新型コロナワクチンについて、など

【II. 報告予定・企画】
・支部設立40周年記念冊子「座談会」(4・9)

【III. 予定・企画】
①Medical English #56 (6・17)
②第9回ファイアサイド・ディスカッション (7・30)

【IV. 当面延期企画】
①近年開業医懇談会
②認知症外来診療経験交流会

【V. 支部設立40周年記念企画】
①記念小冊子作成の検討など
②支部40周年記念市民公開講演会

*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。次回は6月24日(金)に予定しております。支部に「ご意見や企画案など」をお寄せください。